

平成二十一年度 一般入試(二月)

国 語

- 注意
- 1 問題は、【一】～【四】まであります。
 - 2 答えはすべて解答用紙に記入してください。
 - 3 問題用紙と解答用紙の両方を提出してください。

問一、文中の空欄 ・ に入る語として、最も適切なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- (ア) そして (イ) しかし (ウ) 確かに (エ) 例えば (オ) さらに

問二、――線部①「流暢」の語句の意味として、最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 丁寧で失礼にならないこと。
(イ) 非常に聞き取りやすいこと。
(ウ) 優れていて見劣りしないこと。
(エ) なめらかでよどみないこと。

問三、――線部②「学校で外国語を駆使する技能を効果的に学ぶことがいかにむずかしいかを、よく物語っていたよう。」とあるが、外国語を学ぶ上での学校教育の問題点を筆者はどのように考えているか。本文中の語句を用いて五十字以内で答えなさい。

問四、――線部「ない」と異なる意味・用法で使われているものを、次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 今日はテレビを見ない。
(イ) 冬なのにあまり寒くない。
(ウ) とりとめのない話をする。
(エ) 言うことは何もない。

問五、――線部③「意思を通じあえるようになる」を別の表現で言い換えた箇所を十五字以内で抜き出して答えなさい。

問六、――線部④「拍車をかけて」とあるが、この「拍車をかける」という慣用句と同じ意味の慣用句を次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 火に油を注ぐ。
(イ) 二の足を踏む。
(ウ) 言を左右にする。
(エ) 手をこまねく。

問七、次の中から本文の内容に合わないものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 切実性を持って外国人と話す機会を多く持つことこそが、英語の習得につながる。
(イ) 学校で英語を勉強することで外国人と気持ちを理解し合うことができるとは言えない。
(ウ) 文法や発音中心のきれいで正しい英語を身に付けることは現実的には必要ではない。
(エ) 英会話教室においてのレッスンは不都合を生じることがないので切羽詰ることはない。

【二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

満場一致で決まるはずだった。自信はあった。発表したときみんなの反応はばつちりだったし、担任の本宮先生も、いいぞ、というふうに大きくなすうしていたし、書記をつとめる川原くんは、きみの発表した案をひときわ大きく黒板に書いてくれた。

〈信号は 渡る前にも 右左〉

交通安全の標語だった。来週から始まる秋の全国交通安全週間に向けて、全校でクラスごとに標語とポスターをつくる。五年三組の標語は、きみの考えた案で決まり——のはずだった。

中略

でも、黒板に向けた細田くんの視線を引き戻すように、教室の後ろから声が聞こえた。

「意見、言っていていいですか？」

耳慣れない男子の声だった。あいつだ、とすぐにわかった。二学期から入ってきた転校生——五年三組の一員になってまだ十日足らずの、中西くんだ。

〈ア〉予想外のことに細田くんは言葉に詰まり、救いを求めるようにきみを見た。

① 出端をくじかれたきみはムツとして、でもそれを顔には出さずに、いーんじやない？ と目で応えた。その視線を、中西くんに向けて滑らせる。おとなしい奴だと思っていた。前の学校は、市役所の近くの城山小学校だった。二丁目に建ったばかりのマンションに引越してきた。知っているのはそれだけだ。

中西くんは席に着いたまま、黒板を指差して「和泉くんの提案した標語、いいけど、ちよつと間違っているとします」と言った。「直したほうが、ずつとよくなるから」

教室は一瞬静まり返った。男子の何人かがきみを振り向き、女子の何人かは怪訝そうに顔を見合わせた。

中西くんは落ち着いた口調で、きみの標語の間違いを説明した。このままでは意味が通らない、渡るのは横断歩道や交差点なんだから「信号を渡る」という言い方はおかしい、「渡る前」と言うのなら、「信号」ではなくて「横断歩道」や「交差点」に替えたほうがいい……。

〈イ〉教室がざわついた。男子は困惑顔できみと中西くんを交互に見るだけだったが、女子は小声でしゃべりながら、そうだよね、とうなずいている子が多かった。きみはあわてて本宮先生の顔を盗み見た。先生は腕組みをして、ふむふむ、と中西くんの意見に納得している様子だった。

「だめだよ、変だよ、それ」

② きみは声を張り上げる。「絶対だめだよ、そんなの、そつちのほうがおかしいつて」と一息につづけ、そこから先はとつさに考えたことを口にした。

「交差点」なんて言つても、一年生や二年生だと意味わかんないよ。難しい言葉つかつてカッコつけても、意味がわかんなかったら標語にならないから、だからオレ、わざと『信号』にしたんだよ」

〈ウ〉でも、中西くんはきみには目を向けず、細田くんに「もつといい直し方があります」と言った。

冷静な中西くんの口調や表情に吸い寄せられたみたいに、細田くんは「発表してください」と応え、川原くんもチョークを持って黒板に向かった。

〈信号は 青になつても 右左〉

黒板の字は、途中から——「青になつても」の一言に、川原くんが、あ、そつか、とうなずいたのを境に大きくなった。

〈エ〉教室のざわめきも、どつちつかずで揺れ動いていたのが、しだいに一つの声の東にまとまってきた。うなずくしぐさがあちこちで交わされる。三好くんが、ブンちゃんどうする？ と心配そうにこつちを見ていた。それがうつとうしくて、よけい悔しくて、きみはそつぽを向いて椅子に座り直し、窓の外を見つめた。

「じゃあ……いまの中西くんの提案も入れて、どれがいいか……投票に、します」

細田くんが気まずそうに言った。きみは窓の外を見つめたまま、空に浮かぶ雲の輪郭を目でなぞる。勝てない。わかつていた。

五年三組、男女合わせて三十七人のうち、中西くん本人を含む二十二人が〈青になつても〉に投票した。きみの〈渡る前にも〉に手を挙げたのは十人——いつも「ブンちゃん、ブンちゃん」とまとわりついてくる連中ばかりだった。

きみは、^④中西くんの標語に手を挙げた。他の誰にも負けないくらい右手をじんと伸ばして、高く掲げた。でも、中西くんは、「では、五年三組の標語は、中西くんが提案した……」と細田くんが言いかけるのを制して、最初と変わらない落ち着いた態度で言った。

「和泉くんとぼくの合作です」

^⑤コム印で軽く擦^なされただけだった「負け」が、その瞬間、焼きコムで強く胸に押しつけられたような気がした。

(重松 清「きみの友だち」)

(注1) 細田くん……司会をつとめる。

(注2) 怪訝^{けげん}……その場の事情や理由がわからず不審に思うこと。

問一、——線部①「出端^{でたん}をくじかれた」の語句の意味として、最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 物事を始めようとした矢先にじやまをされて、意気込みをなくしたこと。
- (イ) 物事を始めようとした矢先の相手に対して、誠意をもって接してやったこと。
- (ウ) 物事を始めようとした矢先に相手から、攻められたりしたこと。
- (エ) 物事を始めようとした矢先に驚いたりして、言葉が出なくなつたこと。

問二、本文から次の一文が抜けている。〈ア〉〜〈エ〉のどこに入れるのが最も適切か、記号で答えなさい。

「中西くんをにらみつけた。」

問三、——線部②「きみは声を張り上げる。」とあるが、なぜ中西くんの意見に対して、声を張り上げたのか。その理由として最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 中西君の指摘を受けて、腕組みをして納得している先生の注意を引きたい気持ちから。
- (イ) 標語の間違いを中西君に指摘され、意地でも彼の意見を認めたくないという気持ちから。
- (ウ) 中西君の指摘によつておこつた、クラスのざわつきを落ちつかせたいと思う気持ちから。
- (エ) 自信のあつた標語を中西君にけなされ、自分の意見の正当性を強く訴えたい気持ちから。

問四、~~~~線部「満場一致で決まるはずだった。」とあるが、それは和泉君のどういう人間性からいうことができるのか。その理由として最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) クラスの中心的な存在だったから。
- (イ) 非常にがんこな人物だったから。
- (ウ) 先生の信頼が非常に厚かつたから。
- (エ) 下級生におもいやりがあつたから。

問五、中西君の性格を表す四字熟語として、最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 優柔不断 (イ) 傍若無人 (ウ) 単刀直入 (エ) 冷静沈着

問六、——線部③「窓の外を見つめた。」とあるが、なぜこの時和泉君は窓の外を見つめていたのか。四十字以内で答えなさい。

問七、——線部④「中西くんの標語に手を挙げた。」とあるが、和泉くんはなぜ中西くんの標語に手を挙げたのか。その理由として最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) とりまき連中の三好くんが心配そうな言動をするのが、うつとうしく感じられたから。
(イ) 書記をつとめる川原くんも女子の何人かも、中西くんの意見にうなずいていたから。
(ウ) 自分では中西くんの意見に反論してみたが、彼の意見の方がすぐれていると思ったから。
(エ) 本宮先生も腕組みをしながらふむふむと、中西くんの意見に賛成していたから。

問八、——線部⑤「ゴム印で軽く捺されただけだった「負け」が、その瞬間、焼きゴテで強く胸に押しつけられたような気がした。」とあるが、なぜこのように感じられたのか。その理由として最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 自信を持って臨んだ標語にも負け、相手の能力の高さがわかったから。
(イ) クラスの標語の投票にも負け、人間性においても相手が優れていたから。
(ウ) 投票にも負けたのに、相手の落ち着きはらった態度に腹が立ったから。
(エ) 自信があつた標語にも負け、先生やクラスの人達の信頼を失ったから。

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

忍の術指南所といふ看板を見て、弟子入に行けば、師匠のいふには「拙者の術は七日では丈夫に、しのべられます。まづ一と廻り稽古なされ」といわれ、七日通へばもう是では、どこへ忍んでもよぶござるが、逆も
の事に、もう一と廻りけいこなされば、どこへしのべしつても、見つかる事ではござらぬといわれ、又七日
通ひ、二廻り稽古すれば「もう是で^①楽しは御座らぬ。まづために隣の柿をとりに行て見さつしやれ、見つ
かる事では無ひ」といわれ、^②手前の心にも、もはや二廻りの稽古だから、人に 事では有るまひと、
隣の柿をぬすみにはいり、柿の木へのぼつて、さつさつと取つてゐると、男が見つけ「やれどるほうよ」と
呼び立て、さんざんぶちのめされ、かの男肝をつぶし「これほどしのびの術をけいこしたから、見つからぬ
はずだが、何んでも聞て見やう」と、かのみつけた男に「もしお前は、まあどなたでござります」と聞けば
かの男「おれはこのやしきの見廻りの者だ」「ははあどうりで見つかった、おれは二た廻りだつた」

(「華えくぼ」)

問一、〰線部「ある」を、現代かなづかいで書き直しなさい。

問二、〰線部①「案しは御座らぬ」の現代語訳として、最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 案内していただかなくとも結構です。
- (イ) 心配するようなことはありません。
- (ウ) 計画しているような事はございません。
- (エ) 安心してもらってかまわないでしょう。

問三、〰線部②「手前の心」とあるが、誰の心か。最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 指南所の師匠
- (イ) 弟子入りした男
- (ウ) 柿とりを勧めた人
- (エ) どろぼうを見付けた男

問四、本文中に会話文を表す「 」が省略されている部分がある。その会話文を抜き出し、初めと終わりの四字で答えなさい。

問五、文中の空欄 に入る語として、最も適切なものを、文中より抜き出して答えなさい。

問六、この話のおもしろさとして、最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) だましだまされの化かし合い
- (イ) 弟子が師匠を上回るどんでん返し
- (ウ) 二廻りと見廻りの語呂合わせ
- (エ) 悪い事は許されない社会の掟

【四】 次の〰線部について、(1)～(5)は読みを書き、(6)～(10)は漢字を書きなさい。

- (1) 墨絵のような冬時雨の風景。
- (2) 恥ずかしさで火照る。
- (3) 断食の修行をする。
- (4) 彼は英語に秀でている。
- (5) 胸騒ぎがして脂汗が出る。
- (6) 母親に二る。
- (7) 兄弟をシヨウカイする。
- (8) 空気のテイコウ。
- (9) 電波をホウガイする。
- (10) 事態のシエウシエウに努める。